

文部科学省 企画展示イベント 「石炭、石油、電池に続く第4世代ビークル」

環境にやさしい乗り物である電気自動車。最近では航続距離が長い車種も開発されてきています。しかし依然として、バッテリーの充電時間が長すぎるという課題が未解決です。もし電気自動車が電車のようにインフラから直接エネルギーを受けながら走行できれば、バッテリー問題の解決に大きく寄与できます。この講演では、路面に埋設した鉄板から電気を受けながら走行する新しい電気自動車の構想を紹介します。また、しくみと原理の説明に加えて、模型を用いた動態デモ実演も行います。

日 平成 **29** 年 **1** 月 **13** 日 (金)
時 **13** 時 **30** 分 ~ **14** 時 **30** 分
(受付: 13:00~)

場 文部科学省
所 情報ひろばラウンジ
(旧文部科学省庁舎 1階)

要予約・定員40名
★席に余裕があれば、
当日参加可

申込先・お問合せ
豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター
(研究支援課センター支援係)
TEL: 0532-44-6574 e-mail: rcfvc@office.tut.ac.jp
※参加を御希望の方は、1.参加者(複数の場合は代表者の氏名)、
2.参加人数を明記の上、メールでお申し込みください。
※定員に達し次第締め切らせていただきます。

講演者

豊橋技術科学大学 教授
未来ビークルシティリサーチセンター長



大平 孝

